

新技術等 申請資料 (1/5) 表紙 (概要)

		登録No.	C-26041
技術 の区分	☐ 1. 県内産技術 ■ 2. 推奨技術 ☐ 3. その他技術 (県内産技術、推奨技術 以外)		番号: 2
	⇒ (1. 県内産技術の場合) 開発拠点所在地 ※開発拠点が県内か (本店・研究所・工場OK、営業所のみはNG)		開発拠点 所在地:
	☐ 1. 工法 ☐ 2. 機械 ☐ 3. 材料 ☐ 4. 製品 ■ 5. その他		番号: 5
新技術等 名称	VR事故体験安全教育LOOKCA		収受受付年月日 2026/5/22
			処理区分 推奨技術
キャッチコピー	最先端のVR技術活用により 工事現場での安全教育の課題を解決!		開発年 2018
概要 (簡潔に 箇条書き とする)	工事現場における安全教育に対し、 VR技術を活用した工事現場事故体験VRシステムを開発。 全てにおいて最優先されるべき事故防止の実現に向けた 安全教育ソリューションです。		
配慮事項 (県の地域 特性等)	☐ 1. 老朽化対策 ☐ 5. 軟弱地盤対策 ■ 2. 安全対策 ☐ 6. その他 ☐ 3. 防草対策 ☐ 4. 省人・省力化		2
	番号:		
NETISへの 登録状況	工種区分 (レベル1, 2まで記入)	登録年月日	登録番号
	その他-その他	2021. 3. 2	号CS-190006
新技術等 の効果	従来技術名:		
	1. 経済性 ☐ 1. 向上 (%) ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下 (%)	番号:	
	2. 工程 ☐ 1. 短縮 (%) ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 増加 (%)	番号:	
	3. 品質・出来型 ☐ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号:	
	4. 安全性 ■ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号: 1	
	5. 施工性 ☐ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号:	
	6. 環境 ☐ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号:	
	7. その他 ☐ 1. ()	番号:	
開発体制	☐ 1. 単独 ■ 2 (1) 共同研究 (民民) ☐ 2 (2) 共同研究 (民官) ☐ 2 (3) 共同研究 (民学)		番号: 2
開発者名	株式会社仙台銘板、株式会社つくし工房、TOPPAN株式会社		
問合せ先 (所在地が 県内or県外 を必ず選 択)	技術 ☐ 1. 県内 ■ 2. 県外 2	会社名:	住所:
		株式会社仙台銘板	東京都台東区北上野1丁目6番11号ノルドビル2階
		担当部署:	TEL: 03-5579-9381
		広域事業部	(内線)
		担当者名:	FAX: 03-5579-9382
		柳田 一	E-mail:
	営業 ☐ 1. 県内 ■ 2. 県外 2	会社名:	住所:
		株式会社仙台銘板	東京都台東区北上野1丁目6番11号ノルドビル2階
		担当部署:	TEL: 03-5579-9381
		広域事業部	(内線)
		担当者名:	FAX: 03-5579-9382
		柳田 一	E-mail:
施工実績	県内現場	1 件 ←自動計算のため入力しないこと	
新技術等 のPR	当該新技術等に関する説明会・現地見学会等の開催の可否 (県内開催に限定)		3
	☐ 1. 発注者側の希望日・希望場所で開催可能 ☐ 2. 開発側で日程等を準備する。 ☒ 3. 実施しない (県内での開催は不可、又は個別に対応する、など)		

新技術等 申請資料 (2 / 5)

新技術等名称	VR事故体験安全教育LOOKCA	登録No.	C-26041
(特 徴) 工事現場における安全教育に対し、VR技術を活用した工事現場事故体験VRシステムを開発。全てにおいて最優先されるべき事故防止の実現に向けた安全教育ソリューションです。			
(施工方法) ①装着 ・不織布を装着(別売) ・ヘッドフォンを装着 ・本体(ヘッドマウントディスプレイ)を装着 ②操作 ・コンテンツの選択/再生			
(施工単価等) ☐1(1). 歩掛あり (標準) ☒1(2). 歩掛あり (独自) ☐2. 歩掛なし		1	
・毎月1回(0.5日/回)実施する安全教育で、年2回のみ視聴することを想定 ・受講者は10人で、0.5日/回×2回/年とする ・新技術:1回あたり5コンテンツ視聴 ・従来技術:1回あたりビデオ5本視聴 ・工程:毎月1回安全教育は行いうが、視聴は2回のみで、2回×0.5日=1日とする			
(適用条件) なし			

新技術等 申請資料（3／5）

新技術等名称	VR事故体験安全教育LOOKCA		登録No.	C-26041	
(施工上・使用上の留意点)					
①装着 ・不織布を装着(別売) ・ヘッドフォンを装着 ・本体(ヘッドマウントディスプレイ)を装着 ②操作 ・コンテンツの選択/再生					
(残された課題と今後の開発計画)					
①今後の課題 ・多言語対応 ②対応計画 ・検討中					
(実験等作業状況)					
(添付資料)					
実験資料等					
積算資料等					
・毎月1回(0.5日/回)実施する安全教育で、年2回のみ視聴することを想定 ・受講者は10人で、0.5日/回×2回/年とする ・新技術:1回あたり5コンテンツ視聴 ・従来技術:1回あたりビデオ5本視聴 ・工程:毎月1回安全教育は行うが、視聴は2回のみで、2回×0.5日=1日とする					
施工管理基準資料等					
なし					
その他					
なし					
特 許	☐ 1. 有り (番号:) ☐ 2. 出願中 ☐ 3. 出願予定 ☒ 4: 無し			番号	4
				特許番号	
実用新案	☐ 1. 有り (番号:) ☐ 2. 出願中 ☐ 3. 出願予定 ☒ 4: 無し			番号	4
				新案番号	
	制度名、番号		制度名、番号		
	証明年月日		証明年月日		
	証明機関		証明機関		
	証明範囲		証明範囲		

新技術等 申請資料（4 / 5） 施工実績

新技術等名称		VR事故体験安全教育LOOKCA		登録No. C-26041
施工実績	実績件数 県内現場数→	1	件	県外現場数→
	発注者	工期	工事名 及び 路河川等名称	工事請負者
	(記載例) 県水戸土木事務所	2003/9/1～ 2004/3/15	道路改良工事 水戸神栖線	茨城県庁(株)
県内	茨城県県南農林事務所 稲敷土地改良事務所	2025/9/26～ 2026/5/27	507-5091-1A 経営体育成基盤整備事業 石川 地区 第1工区区画整理工事	松尾建設(株)
県外				

実績数が多い場合は、別添としても可。なお、その際も件数についてはこの表に記入すること。

新技術等名称	VR事故体験安全教育LOOKCA	登録No. C-26041
 安全教育		

活用の効果 評価表

新技術名		VR事故体験安全教育(ルッカ)		従来技術名		安全教育(資料ビデオによる)		
経済性	単位あたりの関係するコスト(施工費、維持管理費等)と従来技術を使った場合の概算コストを比較する。							
			従来技術		新技術		コスト差	
	コスト (1日 当り)	271,600	円	421,600	円	-150,000	円	
	$= \frac{\text{コスト差}}{\text{従来技術コスト}} \times 100 = \frac{-150,000}{271,600} \times 100 = -55.2 \%$							
工程	従来技術と新技術の対応する施工サイクルについて、施工単位あたりの実施施工日数と従来技術の概算の施工日数を比較する。							
			従来技術		新技術		短縮日数	
	施工日数(1 当り)	1.00	日	1.00	日	0.00	日	
	$= \frac{\text{短縮日数}}{\text{従来技術の施工日数}} \times 100 = \frac{0.00}{1.00} \times 100 = 0 \%$							
調査項目	品質・出来形	調査内容			評価		理由	
		・品質は向上するか			+1	①	-1	
		・出来形・精度は向上するか			+1	①	-1	
		・耐久性は向上するか			+1	①	-1	
		・品質・出来形の管理項目は減少するか			+1	①	-1	
		・品質・出来形の管理頻度は減少するか			+1	①	-1	
	品質・出来形 = 合計点 = 0							
	安全性	調査内容			評価		理由	
		・墜落・転落事故の危険性が減少するか			①+1	0	-1	意識の向上
		・重機災害の危険性が減少するか			①+1	0	-1	意識の向上
		・飛来・落下物災害の危険性が減少するか			①+1	0	-1	意識の向上
		・作業環境が向上するか(暗がり、騒音、狭所作業の減少)			①+1	0	-1	意識の向上
		・危険物等の取り扱いが減少するか			①+1	0	-1	意識の向上
	安全性 = 合計点 = 5							
施工性	調査内容			評価		理由		
	・現場での施工が減少するか			+1	①	-1		
	・仮設工が減少するか			+1	①	-1		
	・作業員の負担が減少するか			+1	①	-1		
	・熟練度に依存した作業が減少するか			+1	①	-1		
	・施工の機械化の程度は向上するか			+1	①	-1		
施工性 = 合計点 = 0								
環境	調査内容			評価		理由		
	・周辺の大気汚染・土壌汚染・水質汚染が減少するか			+1	①	-1		
	・騒音・振動・粉塵・交通規制等が減少するか			+1	①	-1		
	・産業廃棄物の発生量は減少するか			+1	①	-1		
	・周辺の自然・生態環境・景観との調和は向上するか			+1	①	-1		
	・省エネルギー・省資源化が向上するか			①+1	0	-1	ペーパーレス	
環境 = 合計点 = 1								

※記入要領

①「経済性」「工程」は従来技術との比較を単位あたりの数量で行う。

②その他の調査内容に対する評価は3段階とし該当する番号に○印をつける。

従来技術に比べ優れている(+1)

〃 同等程度である(0)

〃 劣っている(-1)

③(+1)及び(-1)に○印をつけた場合は、理由を記入する。

④減点要素とも、加点要素とも判断のつかない場合は、0に○印をつけて合計点を算出する。

⑤合計点は各項目(5つ)の評価の合計点を記入する。

⑥入力値は 〇 箇所のみとする。

経済性比較表

新技術名称：	VR事故体験安全教育（ルッカ）
従来技術名称：	安全教育（資料ビデオによる）

経済比較する条件

従来の方法より安全性が得られるVR技術を活用した事故体験によって労働災害意識を高める。

○新技術の内訳（直接工事費）						（1日当たり）
項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
ルッカ（賃料）		2.00	回	65,000	130,000	
ルッカ（レンタル料）	最低保証日数5日×2回/年	10.00	日	4,000	40,000	
受講者	普通作業員	8.00	人	24,900	199,200	
	特殊作業員	2.00	人	26,200	52,400	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
合計					421,600	

○従来技術の内訳（直接工事費）						（1日当たり）
項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
ビデオ賃料	5本/回×2回/年	10.00	本	2,000	20,000	
受講者	普通作業員	8.00	人	24,900	199,200	
	特殊作業員	2.00	人	26,200	52,400	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
合計					271,600	